さぬきの森

冬の里山観察ハンドブック

国営讃岐まんのう公園
さぬきの森の会

カスミサンショウウオや ニホンアカガエルの生息場所

カスミサンショウウオ

有尾目　サンショウウオ科

全長：6～12．5cm

○生息場所：
里山林などの、落ち葉の下や腐葉土の下に潜んで生活する。

○エサ：
昆虫、クモ、ワラジムシ、ミミズなどを食べる。

○産卵：
林の近くの湿地や水田などの水たまりに産卵する。（2～3月頃）
→産まれてからオタマジャクシの間は、水たまりで生活する。

ニホンアカガエル

無尾目　アカガエル科

全長：3．5～7．5cm

○生息場所：
水田や湿地や、その周りの草地や林の下などで生活する。

○エサ：
昆虫、クモなどを食べる。

○産卵：
湿地や水田などの水たまりに産卵する。（1～3月頃）
→産まれてからオタマジャクシの間は、水たまりで生活する。

冬芽と葉痕とは

冬の間、植物は休眠して過ごしますが、冬芽をつくって春を待っています。

冬芽（とうが・ふゆめ）

夏の終わりから秋にかけてつくられ、冬を越して、春に葉や花になる芽。

カキノキの冬芽と葉痕

葉痕（ようこん）

秋に葉っぱが枝から落ちた跡。

様々な形をした冬芽と葉痕

冬芽と葉痕は、樹木の種類によって形が違うため、見分けるときに役立ちます。
どれも個性的な形をしており、人や動物の顔のように見えるものがあります。
個性的な形をした、冬芽と葉痕の姿を観察してみましょう。

アジサイ

イヌザンショウ

キリ

ウツギ

ニセアカシア

ノリウツギ

冬芽の種類

鱗芽（りんが）

小さな鱗のようなもので覆われた冬芽

裸芽（らが）

葉が小さく固く縮こまっている冬芽

様々な形をした冬芽と葉痕

サクラ

タカノツメ

タラノキ

ナツツバキ

コナラ

ネジキ